

第2次 珠洲市地域福祉活動計画

存えあい みんなで取り組む 地域福祉



社会福祉法人 珠洲市社会福祉協議会

地域福祉活動計画完全版は、珠洲市社協ホームページでご覧いただけます。

URL : <http://www.suzushi-syakyo.or.jp>

地域福祉活動計画って？

珠洲市における地域福祉を推進するため、地域に住む住民のみなさんを主体とし、福祉活動を行う関係者や各種のボランティア、NPO、保健・医療・福祉の専門機関等の協力・連携のもとで社会福祉協議会が策定する民間の活動・行動計画です。

本計画の期間は平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 年間です。

地域福祉って？

地域で暮らす人々が、「お互いさま」といった支えあいの関係の中で、お互いを尊重しながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域社会を構成するそれぞれの立場の人が協力、連携するしくみや、関係をつくっていくことです。

計画の基本目標



基本目標 1 みんなでつくる支えあいのまちづくり

地域福祉を推進するためには、地域住民一人ひとりが自分たちの地域に関心を持ち、ともに支えあうという意識を高めることが大切です。

日頃の近所付き合いや地域活動への積極的な参加を通して、地域の情報共有や「自助」「共助」のしくみづくり、関係機関の連携強化を図ります。



基本目標 2 安心して暮らせるしくみづくり

地域において様々な生活課題や福祉ニーズを抱えている方に、必要な時に適切なサービスが提供されることが重要ですが、「どこに相談に行けば良いか分からない」「手続きの仕方が分かりにくい」といった声が聞かれます。

また、「ちょっとしたこと」のお手伝いなど公的サービスでは拾えない要望や「制度の狭間」の問題への対応など、どのようにキャッチして、その情報をどうつなげていくか、住民と各専門機関、関係機関などが一体となって、協働して取り組むしくみづくりを推進します。



基本目標 3 ふれあいの場づくり

住民同士が、ともに支えあう地域福祉を推進するためには、気軽に集えるふれあいの場の整備が必要です。地域の住民同士が日常的に交流できる環境づくりを推進します。

「支えあい みんなで取り組む 地域福祉」を合言葉に、市民・事業所・市社協・市それぞれが出来ることを共に考え、連携、協働して、支えあいのまちをつくりましょう。



計画の体系図

基本理念

基本目標

取り組みの方向

具体的取り組み

支えあい みんなで取り組む 地域福祉

1 みんなでつくる 支えあいのまちづくり

(1) 住民参加とともに支えあうまちづくり

- ①市内全地域における地区社協の設置と活動の充実
- ②見守りネットワーク事業の推進
- ③災害時要援護者マップ、支えあいマップの作成
- ④地域福祉活動をすすめるためのリーダーの育成
- ⑤新たな生きがいづくり

(2) ボランティアの育成と活動支援

- ①ボランティア情報の発信
- ②ボランティアコーディネート機能の強化
- ③ボランティア養成講座の開催
- ④災害ボランティアセミナーの開催
- ⑤思いやりの心を育む福祉教育の推進
- ⑥ボランティアの発掘、把握

2 安心して暮らせるしくみづくり

(1) 相談窓口の充実と情報提供

- ①身近な相談窓口の充実
- ②民間サービスや市内の施設等の利用についてわかりやすく解説した冊子の作成

(2) 福祉サービスの適切な利用の支援

- ①生活福祉資金貸付事業
- ②福祉サービス利用支援事業
- ③配食サービス事業
- ④介護保険サービス等の適切な提供

(3) 地域生活を支援するしくみづくり

- ①日常生活でのちょっとした困りごとのお手伝い
- ②高齢者の日常生活充実のための買い物ツアーの実施
- ③携帯端末などを利用した安否確認
- ④冬季高齢者ファミリーホーム（冬季高齢者集合住宅）事業

3 ふれあいの場づくり

(1) 多様な地域交流の促進

- ①地域の縁側、お茶の間の設置
- ②出会いの場づくり
- ③世代間交流などの促進



【認知症にならないための7つの心得】



安心カード

電話の近くに置いてください

緊急時は下記へ連絡してください。



消防署（火災・急病・ケガ）・・・119番
 珠洲消防署・・・82-0247



警察署（盗難・不審な電話・訪問等）・・・110番
 珠洲警察署・・・82-0110



福祉・介護について相談したい時
 地域包括支援センター（福祉課）・・・82-7746
 社会福祉協議会・・・82-7752



心配ごと・悩みを相談したい時
 健康増進センター（福祉課）・・・82-7742
 社会福祉協議会・・・82-7751

ふりがな		住	所	
氏 名		町	内 名	
自 宅 の 電 話		生	年 月 日	
※ 携 帯 電 話				
家族・親戚、近所等、緊急連絡先				
① 氏 名		住	所	
自 宅 の 電 話		続	柄	
※ 携 帯 電 話		※ 職 場 の 電 話		
② 氏 名		住	所	
自 宅 の 電 話		続	柄	
※ 携 帯 電 話		※ 職 場 の 電 話		
かかりつけのお医者さん				
病院・医院名		医	師 名	
電 話 番 号		備 考 (病 名 等)		



無理してやるんじゃなくて、楽しんでやる事が大事。
 認知症になる確率は、うんと低くなるでしょう。

①散歩をする（脳への血流増加）
 ②新聞を声に出して読む（脳への刺激が増加）
 ③料理を作る（脳のすべての場所が刺激される）
 ④社会と関わる（生き甲斐・意欲が生まれる）

⑤電車・バスで外出（緊張感が生まれ認知症予防につながる）
 ⑥日記をつける（思い返す事が大事で翌日の生き甲斐が生まれる）
 ⑦恋をする（一番簡単に脳を刺激する）